

昔の道具とくらし

3年社会科 10～11月 30Q〈10時間〉
 附属新潟小学校 教諭 八幡 昌樹

1 本単元で目指す姿

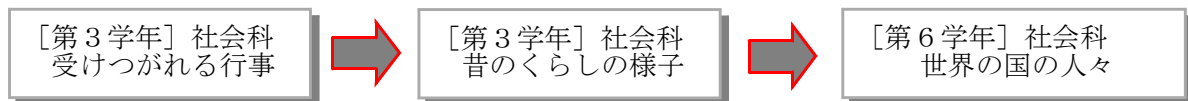
外国とのかかわりを視点に、多角的に昔の暮らしの特色を考える子ども

具体的には、「昔の人も寒い季節を暖かく暮らすために、知恵を働かせてストーブやカイロなどの道具を安全に使いやすくする工夫をしてきた。そのときに、外国の物を取り入れて新しい物を作ってきた。それが今の自分たちの生活にもつながっているから、昔の人の知恵や工夫はすごい」などと考える姿

2 本単元で育成する資質・能力

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に関する理解 ・生活の変化には人々の願いがあること ○具体的資料を効果的に活用する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○昔の道具と暮らしの様子の特色やよさ、相互の関連を多角的に考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会に対する誇りと愛情をもち、地域社会を大切にしようとする態度
国際	<ul style="list-style-type: none"> ○自国の文化に対する理解 		

3 資質・能力の関連



4 単元の計画

	【学習活動】 ☆資質・能力	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔の洗濯の体験をする。 ○ 昔の道具の写真を見て、現在につながる道具を探す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>昔の道具はどのように変わってきたのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族にまだ小さかった頃の昔の道具について調査する。 <ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃんが子どもだった頃は、洗濯板で洗っていた。 ・お母さんが子どもだった頃は、洗濯機は2つの場所に分かれていた。 ○ 調べてきたいろいろな道具を時代ごとにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・60年前はまだ電気で動くものは少なく、手を使って動かすものが多い。 ・30年前になると、電化製品がほとんどになる。 ○ 様々な昔の道具を使う体験をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・初めて触った道具があって、昔の人の生活を感じることができた。 ○ 現在、自分の身の周りにある道具を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 洗濯板を提示して、実際に使わせる。 ◆ 昔の道具が写った写真を提示し、いつの時代のものかを問う。 ※ 取り上げるのは、現在のアイロン、洗濯機、暖房器具、炊飯器につながる4つである。 ◆ 道具カードを提示し、自分の調べたい昔の道具について、家族に調査することを提案する。 ※ 家庭学習として家族への聞き取り調査を行わせ、道具カードに道具の使い方、その当時の暮らしの様子を記録させる。 ◆ 絵年表を提示して道具カードを貼らせ、それぞれの時代の暮らしの様子について気付いたことを問う。 ◆ それぞれの時代についての共通点を問う。 ◆ 新潟市歴史博物館で昔の道具を使う体験をさせる。 ◆ 昔の道具が現在ではどのようになっているかを問う。 	18 Q 6 時間

	○ 学習問題の結論を考える。	◆ 学習問題の結論を問う。	
	○ 道具は、時間が経つにつれて、安全で便利に、使いやすくなって進化してきた。		
二次	<p>○ 昔と現在の道具の変化について、学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具の方が喜ばれるのに、次々に新しい道具を使っている <p>なぜ人は道具を進化させてきたのか。</p> <p>○ 学習の進め方に見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の様子が分かる資料が必要だ。 <p>○ 資料から分かることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事の時間が短くなっている。 ・時間があれば仕事も遊びもできる。 <p>○ 昔の道具が変わり続けてきた理由を考える。</p>	<p>◆ 同じ種類の道具を時系列で並べて提示し、それぞれのよさを問う。</p> <p>◆ 学習問題に対する予想とこれからの学習の進め方を問う。</p> <p>◆ 1日の生活の中で家事に費やす時間を表したグラフを提示する。</p> <p>◆ 学習問題の結論、それに対する自分の考えを問う。</p>	6Q2時間
	○ 昔の人々が生活をよりよくしたいと願って、道具が安全で便利に、使いやすくなるように知恵を働かせてきた。だから、今の私たちは暮らしやすい生活ができる。		
三次	<p>○ 昔から現在に至るまでの寒い冬の暮らし方に関する学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーブやカイロを使っている。 ・昔は現在よりも寒かった。 <p>昔は今より寒いのにどうやって暖まっていたのか。ストーブやカイロを使っていたのか。</p> <p>○ 学習の進め方に見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今と似たような道具を使っていた。 ・どんな道具を使っていたのか家族に聞いてみたらいい。 <p>○ 寒い季節に暖かく過ごすためにどうしていたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父母が子どもころ、今の使い捨てのカイロを使うようになった。 ・祖父母が子どもころ、ストーブが使われるようになった。 ・暖かく暮らすために、安全で使いやすい工夫をしていた。★社会① <p>○ ストーブとカイロの特徴を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てカイロはアメリカにあった物を日本に取り入れて使い始めた。 ・ストーブは最初は外国の物を取り入れて、ヒーターなどを作っていた。 ・どちらも外国の物を取り入れて新しく作った物だ。★社会①② <p>★ツール活用能力★協働性</p> <p>○ 学習問題の結論、自分の考えをまとめ、本時の学習を振り返る。</p>	<p>◆ 新潟市の11月の気温を提示して寒いときに使う道具を問い、60年前・30年前の暮らしについて疑問に思うことを問う。 【働き掛け1】</p> <p>◆ 学習問題に対する予想、学習問題を解決するための方法を問う。 【働き掛け2】</p> <p>◆ 課題解決のための調査活動の時間を設定する。 【働き掛け3】</p> <p>※ 道具の使い方だけでなく、使うことによる効果、当時の思いや願いについても調べさせる。</p> <p>◆ ストーブとカイロの移り変わりが分かる資料とツールを提示する。 【働き掛け4】</p> <p>◆ 学習問題の結論、昔の人に対する思いを問い、これまでの学習を振り返らせる。 【働き掛け5】</p>	6Q2時間
	○ 昔の人も寒い季節を暖かく暮らすために、知恵を働かせてストーブやカイロなどの道具を安全に使いやすい工夫をしてきた。そのときに、外国の物を取り入れて新しい物を作ってきた。それが今の自分たちの生活にもつながっているから、昔の人の知恵や工夫はすごい。		★社会②③★国際理解①